



読者のページ

飼料自給 13の500羽養鶏

問 現在成鶏四〇〇羽飼育、春には五〇〇羽となります。耕地面積は水田三反歩に畑〇・五反有し、水田の方は裏作を飼料用に、畑には甘藷その他の飼料作物を作りたいと考えており、また現在、三基のサイロ(小型直径三尺×深さ六尺)とチョッパー一馬力用一台を有しております。計画は飼料の三分の一の自給、一日一羽一〇〇〜一二〇ポの飼料の必要として四〇ポ前後の飼料を緑餌として与えたいのですが、牧草の種類、飼料の作付け方法、チョッパーの大きさ等お知らせ下さい。

(兵庫県宍粟郡 寺田 信司)

答 御質問によりまずと飼料作物用として使用出来るのは水田裏作の三反歩と〇・五反歩の畑だけで裏作の水田の方も十二月〜三月上旬までは積雪や霜の害があり使えないようです。

(1) 飼料作物の給与の限界

一般に鶏の飼料には五〜七％程度の繊維分を含む必要があるが、これを欠乏すると

この頁は読者のために開放しております。
酪農関係のご質問、ご感想、本誌に対するご意見、或は経営の概要、試作試験、地方のニュースなど、どしどしお寄せ下さい。
ご質問以外の掲載分には粗品を呈いたします。(係)

胃腸障害や尻ツッキなどをおこすが緑餌を与えることにより防止できる。また、ビタミン類も飼料作物の中には多く含まれている。しかし、繊維分の量が多いと害になりますから、生草の給与限度は緑餌程度に止めるか、濃厚飼料の節減に利用するかによって異なってくる。一般には濃厚飼料の二〇％位が良いとされております。中には所謂草養鶏と称して八〇〜九〇％もの高度の利用を行っている例もありますが、つまり、一日一羽当り二〇〜三〇ポが標準で、勿論これは水分八〇〜九〇％の生草で考えておりますから、水分の含量により調節することが肝要であります。

(2) サイレージの給与

サイレージは生草に準じて与えるとういでしょう。ただしサイレージにしますと消化率も高くなりますから幾分増量されてよいでしょう。従って飼料作物の準備は五〇〇羽の場合は毎日一〇〜一五ポポのものが必要で年間五トは最少限確保しなければならぬでしょう。

(3) 栽培方法と準備

次に飼料作物の栽培についてであります。飼料作物は一年を通じて欠乏しないように心がけ計画的に栽培することが大切なことです。飼料作物の栽培及び利用計画の一例を示すと表のようになります。〇・五反の畑にはラデノクロバ、赤クロバを作り、これは主に夏分の緑餌として四月〜十一月ごろまでの間に利用します。ラデノクロバですと〇・五反でもかなりの収量がありますが、不足分は裏作に作るイタリ

飼料栽培及び給与計画

栽培計画	作物名(10ア目録生産)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水田裏作	イタリアンライグラス (2,500)												
	エンバク (2,500)												
	レンゲ (2,500)												
	レーフ(参考) (2,000)												
	ラデノクロバ (10,000)												
給与計画	サイレージ												
	イタリアンライグラス												
	エンバク												
	レンゲ												
	ラデノクロバ												

アンライグラス、エンバク、レンゲ等のサイレージで補うとよいでしょう。裏作の方のイタリアンライグラス、エンバク、レンゲは水田落水後立毛中の九月の中旬ごろ播種して年内に一度若いものを刈り取ります。翌年、四月〜五月の間に二〜三回(レンゲのみは一回刈り)刈取り、細切してサイロに詰め込み十一月下旬〜三月下旬ごろまであるいは夏分のラデノクロバの不足したときに併せて利用します。刈取る牧草は三〇ポ前後の若刈りにすると再生もよく、鶏も好んで食べ消化も良く効果的です。夏分甘藷を栽培しその蔓の利用も考えられますが耕地の面積が少ないのでラデノクロバの方がより効果的であると思われまます。チョッパーについてはサイレージ等一度に沢山切り込む時には大きなものが能率的であります。使用の程度等考え合せで合ったものを選ぶのが良いと思います。サイロも鶏の場合一度に多量にサイレージを取り出すことがないのですから小さなものを数多く持った方が腐れを最少限にして、無駄を少くすることです。

(上野幌育種場 松原 守)

上表以外に使用される養鶏用飼料作物

ファイールドブROOMグラス
パーシム(エジブシアンクロバ)
ルーサン(アルファルファ)
ベッチ(コンモンとヘアリーあり)
タンバラ
子実用デントコーン(一代雑種各種)